



# 明倫

舞鶴市立明倫小学校

令和元年9月30日



## がまんすることは損ですか

千葉県を始め他府県では台風による大きな被害が出ています。自然災害を前にすると人間はこれほどまでに無力なのかといつも感じさせられます。被災された方には心よりお見舞いを申しあげたいと思います。

幼児期にがまんすることを覚えると後の学力や健康面によい影響があるという話を聞きました。がまんすることを覚えると肥満の子どもが減るそうです。食べるということについても自制心が働き、余分に食べることをがまんして肥満が減るということでした。肥満が減ると病気になる確率も低くなり健康で長生きできるそうです。また、学力にも大きな影響を与えます。学習する内容は好きなものばかりではないはず。得意なものもあれば苦手なものも必ずあります。苦手な学習や課題に出会ったとき、課題が解決できないときはどうしますか。がまんする力がついていないと、すぐにあきらめてしまいますが、がまんすることが身につけていると困難な問題にも取り組み、自分の力で解くこともできるのです。そのため、少しずつ学力が上がってくるのです。



がまんする必要はないという人もありますが、がまんすることを子どもの時に覚えたら、大人になって良いことがあるはず。決して損することはありません。もちろん、がまんしすぎる必要はありませんから限度はむずかしいと思います。子どもにがまんする力を養ってみませんか。

校長 池田 弘一

## ネットの社会で（SNS）

運動会の季節になると、いつも話題になるのがSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）に運動会の様子を動画や画像で掲載することです。自分の子どもを自宅で撮影してSNSにあげることは問題ないのですが、運動会では必ず他の子どもも写っていて、いっしょに画像に出てしまいます。個人や家族で動画や写真を楽しまれるのはいいのですが、他の子どもにまで迷惑がかかることを考えてください。

「これぐらいいいだろう。」と軽い気持ちで撮影してSNSに掲載し、大きな問題になっていることも数多くあります。それは、一度SNSに掲載すると世界中に拡散し、完全に削除することが難しくなるからです。

インターネットの普及で私たちの生活はとても便利になりました。しかし便利なSNSとはうまくつきあっていかなければなりません。御協力をよろしくお願いいたします。